

京都で人とつながる 夢がひろがる 京都市成人式ニュース

平成30年京都市成人の日記念式典が盛大に開催されました！

多数の新成人が参加し、旧友との再会を楽しみました！

1月8日(月・祝)にみやこめっせ(京都市勧業館)で開催された「京都市成人の日記念式典」。当日は終日雨の降るあいにくの天候でしたが、7545名の新成人が参加し、大きな賑わいのもと、厳粛な中にも温かみのある成人式となりました。(住民基本台帳に基づいた京都市内の新成人数は、1万4944名、参加率50.5%)



優雅な音色と華麗な踊りで新成人をお迎えました。



京都市立芸術大学生



京小町踊り子隊

新成人の門出を祝うため、京都市立芸術大学生と京小町踊り子隊の皆さんが応援に駆け付けてくれました。まず、芸術大学生の皆さんによって優雅な弦楽四重奏が奏でられ、引き続き、色鮮やかな衣装に

身を包んだ京小町踊り子隊が「華の乱」、フラッグ・リボン・和傘を次々と持ちかえて踊る「百花繚乱」を披露すると、一気にお祝いの雰囲気会場に広がりました。

新成人舞妓「梅ひな」さんが舞を披露しました。

今年新成人を迎えられる舞妓の「梅ひな」さんによって、お祝いの席で舞う演目の「七福神」、四季の風情や情緒を描いた「京の四季」を上七軒歌舞会の三味線とともに披露し、会場を魅了しました。



梅ひなさん

厳粛な会場内に響く市歌・国歌



京都市消防音楽隊・京都市少年合唱団

続いて、京都市消防音楽隊による演奏のもと、京都市少年合唱団、京都国際交流合唱団の皆さんが澄み切った歌声で、市歌・国歌を合唱し、厳粛な式典が開式しました。



京都国際交流合唱団

門川市長から新成人へ



門川大作 京都市長

来賓・主催者紹介の後、門川大作京都市長は「日本が近代国家への歩みを踏み出した明治維新から150年の節目に未来志向で行動しよう」「人生に無駄なことなし」のメッセージを添え、「どんな困難に出会っても真つ正面から挑戦していただきたい」とのエールを新成人に贈りました。

京都市会から新成人へ



寺田一博 京都市会議長

寺田一博市会議長からは「常に視野を広く持ち、アンテナを高く張って、様々なことに果敢にチャレンジしていただきたい」「共にこのまちを愛していただきたい」「政治全般への関心を深め、主権者としての自覚を一層強く持つていただきたい」という励ましと期待を込めたお祝いの言葉が贈られました。

新成人代表による二十歳の誓い

高校生の夏、ボーイスカウトで海外の仲間達と国際交流をし、「人を通してその国を好きになる」ことを実感しました。その経験を生かし、貿易や観光の仕事に携わり、多くの国の人々が日本を知り、好きになる人を増やしたいです。



前川陽司さん

日本人とアメリカ人のハーフとして、アメリカで生まれ育ち、昨年5月にリッツカールトン京都のインターン生として、ラスベガスから京都にやって来ました。大学に戻っても京都での経験を忘れず、世界中の経済を勉強し役立つ人になりたいです。



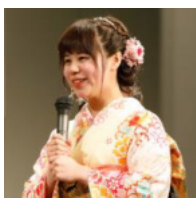
パーチ美奈さん

私は、日本人の父とフィリピン人の母から生まれたダブルです。高校時代の担任の先生からの言葉をきっかけにハーフ「半分」ではなくダブルの自分を誇れるようになりました。人に影響を与えられる小学校教師を目指します。



峯聡さん

自分を変えたいという思いから、私は家族と離れてニュージーランドの高校へ進学し、家族の大切さを身にしみて実感しました。大切な人と過ごす日々を疎かにせず、私らしく笑顔でこれからの人生を歩んでいきます。



辻晏奈さん



在田教育長の新成人への励まし、華包贈呈



新成人への励まし



新成人に贈られた華包

在田京都市教育長からの新成人への励ましの後、久保敦京都市子ども若者はぐくみ局長と澤村悦弘ユース21京都理事長から、京都の若手華道家達が現代に復活させた、江戸時代のいけばなの伝書に残る「華包(はなつつみ)」が新成人代表へ贈られました。

若さあふれる力強い踊りと
ありがとう抽選会



京炎そでふれ!

第2会場の様子

式典終了後に、会場の新成人と同世代の京炎そでふれ!の皆様が力強い創作オリジナル踊りが披露されました。引き続き、お世話になった人へ贈るための、ペア食事券などが用意されたユース21京都主催のありがとう抽選会が行われ、当選した新成人からは喜びの声が上がっていました。

私たちの集いコーナー

式典終了後、新成人は第2会場に移動しました。ここでは、私学等を含めた中学校109校のコーナーが設けられ、校名看板の下には「母校・恩師からのメッセージ」が掲示されました。懐かしい先生からのメッセージや学校の現在の様子などを見て、新成人の皆さんは感慨にふけていました。



母校・恩師からのメッセージを見て昔を懐かしむ新成人たち

ボランティアの皆様ありがとう

今年も、裏千家淡交会青年部の皆さんによる「お茶席」、新

洞学区の皆さんによる「振る舞い餅」、京都市学校給食研究会の皆さんによる懐かしの給食メニュー「ふりふり中華炒め」「三色ゼリー」を振る舞っていたいただきました。第2会場はお祝いムード一色となり、新成人たちは憩いのひと時を楽しんでいました。



京都市学校給食研究会による懐かしの給食



新洞体育振興会の皆さんによる振る舞い餅



裏千家淡交会青年部によるお茶席

京都市 はたちプロジェクト

京都市では、社会全体で青年の門出を祝い励ます気運を高め、成人の日をきっかけに人と人、人と社会の絆が深まるよう、「はたちプロジェクト」を展開しています。ここに主な取組を紹介します。

おめでとう・ありがとうの手紙

日頃はなかなか言えずにいる感謝の気持ちや、お祝いの言葉などを手紙に綴ることで、家族等の絆を深め成人式の気運を高めることを目的とした「おめでとう・ありがとう」の手紙を募集しました。本年度は特に心に残る作品を3点選定しましたので、うち1点をここに紹介します。(他2点は京都市子ども若者はぐくみ局育成推進課のホームページに掲載しています)

お母さんへ

20年間育ててくれてありがとう。
私の陸上人生は故障ばかりで、故障してイライラして、お母さんに当たったりしたこともあったけど、いつでも励ましてくれたから頑張れました。

大学に入って故障が治らなくて病んでしまった時は、お母さんのLINE すら鬱陶しくなって無視したりしてたくさん心配かけてしまってごめんね。選手からマネージャーになると決めた時、申し訳ない気持ちでいっぱいやったけど、「私の人生やから」と背中を押してくれて嬉しかったです。

小学生の時にサッカーを続けるのか陸上を続けるのか悩んだ時もそうやったけど、私が大事な選択を迫られた時は、私がちゃんと自分の意志で決められるようにさせてくれたなって今までを振り返って思いました。だから、選んだ道を頑張ろうって自分の選択に自信を持つことができました。

お母さんが私のお母さんで本当に良かったです。まだまだ子供っぽいこともたくさんあるけど、きちんと自立した大人の女性になって立派に生きていけるように頑張ります。

本当にありがとう。

(京都市 渡邊朱莉 さん)

1/2成人式を取組



新成人にプログラムを渡す
小学4年生たち

小学4年生がこれまでの成長を振り返り、将来を考える「1/2成人式」。当日は4校から102名の児童たちが参加し、受付でお兄さん、お姉さんたちに「おめでとうございます!」と元気な掛け声とともにプログラムを配布してくれました。その後、新成人とともに式典にも参加しました。

参加校 静原小・鏡山小・錦林小
第三錦林小

思い出成人式

京都市成人の日記念式典には、仕事や家庭の事情など様々な理由で成人式に参加できなかった方で、改めて「大人のけじめ」として成人式に参加したい方をご招待し、新成人の方と一緒に式典に臨んでいただいております。今年は2名の方が出席されました。